

キリストの弟子として生きる

2013年1月10日初版

筆者：九場ケンソン正宣

マルトノマ聖書学院卒業。妻のゲイルと3人の子供達とパプアニューギニアで6年間の宣教をした時期も含め、12年キャンパスクルセードスタッフとして働く。現在、水細菌学者としてハワイ、マウイ島にて研究を続け、4匹の犬と家族と共に暮らす。

訳者：

エンソモ裕加子、ポール真弓、小山牧人
引用聖書は、日本聖書刊行会の新改訳第三版を使用。

表紙イラスト：

エミー・ファインバーグ

原著：

Spiritual Discipleship

Copyright © 2003 Discipleship Ministry

弟子訓練ミニストリー：

弟子訓練ミニストリーは、イエス・キリストの「あらゆる国の人々を弟子としなさい。」という大宣教命令を全うするために活動しています。www.biblestudycd.com

セカンドレベル・ミニストリー：

セカンドレベル・ミニストリーは、日本人クリスチャンの霊的成長を促し、キリストの弟子づくりに焦点をあてている働きです。又、育てられたキリストの弟子が、さらなる弟子を育てていく「増殖」を目指して活動しています。www.secondlevel.org

発行所

セカンドレベル出版

2841 Greystone Lane

Atlanta, Georgia 30341 U.S.A

E-mail: dainidankai@secondlevel.org

Copyright ©2013 Second Level Ministry

目次

このテキストについて	ii
はじめに	iii
第1章 御霊によって生きる	1
第2章 真実によって生きる	6
第3章 信仰によって生きる	10
第4章 希望の中で生きる	15
第5章 愛の中で生きる	19
第6章 神の御国のために生きる	23
第7章 永遠のために生きる	27
第8章 神の栄光のために生きる	31

このテキストについて

このテキストの目的：

『キリストの弟子として生きる』は、キリストの弟子としての生き方を聖書から学ぶために作成されました。神に喜ばれる生き方を追及するために、大切な聖書の見解を各章で学びます。

テキストを用いる際に：

本文 ーレッスン

- ✓ 全ての引用聖書箇所気をつけながら読んで下さい。
- ✓ 与えられたスペースにおいて質問に答えて下さい。
- ✓ 示された全ての適用を行いましょ。聖書を読む目的は、ただ情報を得るだけではありません。私たちは御言葉を用いる事によって、変えられていく必要があります。
- ✓ 「覚えましょ」の矢印は、学びのキーとなる聖句を暗記するためにつけられています。

右欄ーより深い学びのために

- ✓ 役立つインフォメーションは、レッスンを更に深く学ぶ助けになります。
- ✓ 指示に従って印をつけてください。
- ✓ 関連聖句も読んで下さい。関連聖句は、テキスト本文に加えて見るべき箇所です。他の聖句を見ることによって、聖書の中の奥深い真実を観察し、熟考し、より深い理解に導かれるように構成されています。

はじめに

クリスチャンはキリストのように変えられて行くことが期待されています。イエス様は、私たちが彼のモデルに続くよう、私たちの人生が神の御心に沿うようにと召されました。以前NASAのディレクターであったジーン・克蘭ズは、『失敗という選択肢はない。』とおっしゃっていました。全ての信仰者はいつの日か「どれだけ主の召しに忠実であったか」評価をされるために主の前に立ちます。クリスチャン人生のこの決定的な理解において私たちは不十分であるために、多くの者が、何にも変えられない天における霊的な報酬と権限を受け取ることが難しいでしょう。

多くのクリスチャン達が、キリストご自身が彼らを召し、キリストの弟子となるのを望んでおられることを見過ごしています。キリストを救い主だと知るだけで満足し、主の名を呼ぶものの、キリストを実際に自分の主とすることに対してはほんの少しの意識しかない場合が多々あります。主の栄光を求める人生から離れ、本物の喜びを見つける事のできないこの世の華やかさや誘惑に惑わされています。それ故、主ご自身が私たちのためにご用意しておられる祝福と栄誉を受け取れずにいるのです。目を開いて下さい。神様はこの世の富や楽しみを神の国と栄光のために捨てる者達に、私たちの最大の期待をも超えた報酬をお与えになります。ジム・エリオットは以下のような宣言をしています。

とこしえのものを得るために、
維持できないこの世の物を捨てる者は
愚かではない。

これこそが、このテキストが書かれた理由です。主に従って真剣に歩もうとする者たちのための学びなのです。キリストにすべてを捧げることが要求されるからです。この世の見方では、あなたは『全て』を明け渡さなければいけない、とみなされるでしょう。しかし、それはあなたが永遠の喜びと満たしを受けるや否や、なんでもなくなってしまうのです。これこそが知恵と呼ばれるものです！どんな愚かな者でも一億円のために百円を喜んで投資するでしょう。そして、この例えですら、永遠における報酬と比べれば、なんでもないことです。

あなたは主がご用意されているものを得るために何を喜んで明け渡しますか。もしあなたが真実の『報酬』が何かを理解しているのなら、百円を一億円に代えるように、『この世』を明け渡すことに迷いはないはずです。いつか永遠の入り口に立つ時、私たちは神の御国における真実の富の代わりに、なぜこの世が与える安っぽいものやスリルをいかに握りしめていたのか不思議に思うでしょう。

このテキストは、『この世』を主のために取りかえることに準備ができている人のために作成されています。もし、あなたがそのような思いであるなら、学びを始めてください。そして、あなたの心が神のものと共に心拍するほど、神ご自身があなたを近づけてくださいますように。

第1章 御霊によって生きる

弟子のアイデンティティ

キリストの弟子であるためには、御霊によって導かれて生きることを学ばなければなりません。神が霊であるように、わたしたちも本質的には霊なのです。私たちは、神の創造されたこの物質世界で生きることができるように、肉体を持って生まれた霊的存在なのです。

私たちがキリストの身代わりの死とよみがえりを信じたとき、私たちの霊は神の霊との新しい霊的な関係の中に生まれました。神ご自身の霊が私たちの内に住まれた時、神の御性質や力、情熱も私たちの内に注ぎ込まれました。そのことのは、私たちの内に新しく生まれた神ご自身への愛、絶えることのない御言葉への愛、私たちのための完全な計画への愛によって、証明されています。私たちの目と心は、新しい世界と永遠の希望へと開かれ、まるで生まれたばかりの赤子のよう、今までに慣れ親しんできた生活とは全く違う霊的生活について、学び始めるのです。

しかしそこに私たちの問題があります。霊的には神による新しいいのちが与えられ、私たちの霊は生まれ変わりましたが、私たちの肉の体(肢体)は、まだ古い罪の性質によって影響されているのです。すなわち、私たちの霊は、天の永遠の喜びに魅了されていますが、私たちの肉体はこの世界の一時的なスリルに縛られている状態なのです。パウロは、私たちのこのような苦境を、ローマ 7:14-8:25 でこのようにいっています。

- 14 私たちは、律法が霊的なものであることを知っています。しかし、私は罪ある人間であり、売られて罪の下にある者です。
- 15 私には、自分のしていることがわかりません。私は自分がしたいと思うことをしているのではなく、自分が憎むことを行なっているからです。
- 16 もし自分のしたくないことをしているとすれば、律法は良いものであることを認めているわけです。
- 17 ですから、それを行なっているのは、もはや私ではなく、私のうちに住みついている罪なのです。
- 18 私は、私のうち、すなわち、私の肉のうちに善が住んでいないのを知っています。私には善をしたいという願いがいつもあるのに、それを実行することがないからです。
- 19 私は、自分でしたいと思う善を行なわないで、かえって、したくない悪を行なっています。
- 20 もし私が自分でしたくないことをしているのであれば、それを行なっているのは、もはや私ではなくて、私のうちに住む罪です。
- 21 そういうわけで、私は、善をしたいと願っているのですが、その私に悪が宿っているという原理を見いだすのです。
- 22 すなわち、私は、内なる人としては、神の律法を喜んでいるのに、



ヨハネ 1:12-13
エペソ 2:1-10
ローマ 6:4

ローマ7:14-25
印をつけましょう。

- 14 律法とは
私たちの状態
私を治めているもの
- 15 私が分からないこと
私がしていないこと
私がしていること
- 16 私が認めていること
- 17 私の嫌うことを行っているもの
- 18 私が知っていること
内にあるもの
実行できていないこと
- 19 行っていないこと
行っていること
- 21 見出せる原理
私たちの状態
- 22 神の律法を喜ぶもの

23 私のからだの中には異なった律法があって、それが私の心の律法に対して戦いをいどみ、私を、からだの中にある罪の律法のとりこにしているのを見いだすのです。

24 私は、ほんとうにみじめな人間です。だれがこの死の、からだから、私を救い出してくれるのでしょうか。

25 私たちの主イエス・キリストのゆえに、ただ神に感謝します。ですから、この私は、心では神の律法に仕え、肉では罪の律法に仕えているのです。

覚えましょう



1 こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。

2 なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。

23 私たちの体に存在するもの
罪の律法が行うこと
私たちをとりこにしているもの

24 苦境が示す私たちの状態
救い出されるべきもの

25 私たちを自由にされるお方
心が仕えているもの
肉が仕えているもの

1 キリストにある者の行方

2 いのちの御霊の原理が成したこと

解釈

1. パウロはどんな苦境を経験しているのでしょうか。(14-15節)

2. 16-20節でパウロが考えていることを説明してください。

3. パウロは、悪の原理が自分のどこに存在しているといっていますか。(21-23節)

また、神に従いたいという願望は、どこにあるといっていますか。

4. 24節で、パウロは何を言っているのでしょうか。

5. 25節と8:1-2節の、パウロの結論とは何ですか。

本当のクリスチャンは、パウロの葛藤の中に自分自身を見るでしょう。もし、そのような葛藤がないなら、それはまだあなたが霊において、真に生まれ変えられておらず、神の新しい御性質を持っていないからかもしれません。

しかし、もし自分を見るなら、あなたは二つの相違った願いを体験することになるでしょう。一つは神に対する願い、そしてもう一つは、この世に対する願いです。神を愛し神に仕えたいという願いは、神の御霊があなたの心の中にあることの証拠で、キリストにある新しいあなたを表します。肉的でこの世のものに対する願いは、私たちの肉体に今も存在する古い性質のなごりなのです。

真のクリスチャンが、罪に陥ってしまうとき、それはキリストにある新しい人として心からしたいと願ったことではありません。神は、その恵みにより、真のクリスチャンを咎めることがないようにと、罪の性質から彼らを引き離してくださったのです。これは、神の恵みと、キリストにある私たちの自由を、信じられないほどに表しているのです。

パウロの言っていることが理解できますか？これが御霊に導かれて生きることの鍵です。私たちが理解しなくてはならないことは、..

- ✓ 私たちの内には、2つの性質が存在している。
- ✓ 御霊によってある神の性質が私たちの新しい性質で、それが今の私たちの真の姿である。
- ✓ 私たちの肉にある罪の性質は、以前の私たちの古い性質である。
- ✓ 神の性質は、いつも、神の計画と目的を成就することを願う。
- ✓ 罪の性質には、神の計画と目的を成就することは決してできない。
- ✓ 御霊の内に歩むとき、人生において神の計画と目的を成就する。
- ✓ 肉の内に歩むとき、私は、神の計画と目的に反して生きる。
- ✓ 神の子どもとして、神は私の肉にある罪が私自身を神に逆らわせることを知っておられる。
- ✓ イエス・キリストを通して、神は私を罪の性質から離別してくださった。
- ✓ イエス・キリストにあつて、私は罪の性質による責め咎めから解かれた。

神が私たちの罪の咎めを取り除かれたということは、私たちが咎められることを恐れず自由に罪を犯すことができるようになったということではありません。それは、自由に、咎められることを恐れることなく御霊に導かれて生きることができるようになるためです。私たちは、父なる神から、神が栄光をお受けになることを願う新しい性質と、私たちの身体を通してその性質をあらわすための新しい自由を相続したのです。しかし、自由には責任と選択が伴います。真にキリストを信じる者として、あなたは天の父に栄光を帰すような人生を送りたいと思いませんか。あなたの人生を通して神の目的と計画を達成したいと思いませんか。肉によってではなく御霊によって生きましょう！難しいことではありません。

16 私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません。

17 なぜなら、肉の願うことは御霊に逆らい、御霊は肉に逆らうからです。この二つは互いに対立していて、そのためあなたがたは、自分のしたいと思うことをすることができないのです。

18 しかし、御霊によって導かれるなら、あなたがたは律法の下にはいません。

19 肉の行ないは明白であつて、次のようなものです。不品行、汚れ、好色、

20 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、醜悪、遊興、そういった類のものです。前にもあらかじめ言ったように、私は今もあなたがたにあらかじめ言っておきます。こんなことをしている者たちが神の国を相続することはありません。

22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、

23 柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。

ガラテヤ人への手紙 5 : 16-23



エゼキエル36:26-27
第2ペテロ1:4
ガラテヤ5:13-14

ガラテヤ5:16-17
印をつけましょう。

16 パウロは、私たちするように教えていること
教えに従うとき、しなくても良くなること

17 肉はのすること
肉に対立するもの
それらの対立による影響とは

18 御霊に導かれる人の状態
19-21
「肉の行い」とは
肉に身を委ねる人が相続できないもの

22-23
御霊の実とは
「このようなもの」に反するものとは

覚えましょう



覚えましょう



解釈

1. 16-17節にある、御霊と肉の関係を説明してください。

2. なぜ、御霊に導かれる人は、律法の下にいないのでしょうか。

3. 19-21節にある「肉の行い」各々を辞書で調べてみましょう。また、21節の最後に書かれている忠告は、何を意味しているのでしょうか。

4. 22-23節にある「御霊の実」各々を辞書で調べてみましょう。また、なぜ、パウロはこれらの品格を書き記したのでしょうか。

パウロは、「このようなものを禁ずる律法はありません。」と言っていますが、どういう意味なのでしょうか。

あなたの肉の思いがあなたの人生を支配しようとしていることを理解してください。肉はあなたが生まれたときからあなたを支配していましたが、あなたが今キリストにある新しい人として生まれ変えられてもなかなか引き下がろうとはしません。あなたを支配の下に置こうとするのは、肉だけではありません。サタンと彼の軍勢、そして、彼が王として支配者として治めているこの世界のシステムが共同して信仰の弱い信者、サタンの策略を知らない信者を誘惑し、わなにかけようとしています。ですから、私たちは、私たちのキリストにある新しいいのちを「亡きものにし、盗み、破壊」しようとするあらゆる手段を使って全力で向かってくる敵に対し、「目を覚ましていなさい」、「しっかり立っていなさい」と忠告されているのです。御霊によって生きているクリスチャンのみが、サタンの邪悪なわなを見破り、阻止することができます。

キリストの弟子であるということは、私たちが御霊に導かれて生きることがを要求します。肉により支配されているときは常に靈的に盲目されています。サタンの支配の下になっているのです。サタンは自由に誘惑し欺き、私たちが神から離れさせることができるのです。そのような機会をサタンに与えるべきではありません。私たちが御霊に導かれて生きるとき、私たちの思い、感情、意思は、神の目的、計画と一つになり、何が「良くて、受け入れられて、完全」であるかを見極めることができるようにされるのです。そのような靈的狀態で生きるとき、私たちは真に主の弟子なのです。

ほとんどの人が気が付いていることかもしれませんが、靈的世界のほうが肉的なものよりも支配力があります。個人だけでなく国家でさえも、行動や生き方において、サタンの影響を受けているのです。今でもサタン達は、クリスチャンたちを攻撃し、彼らの信仰や信仰の証しを破壊しようとしています。

サタン達は、人生や、グループ、国家など、人々の心のより所を確立し、人々を欺きます。そして、神への正しい知識をなくし、神のひとり子、イエス・キリストにより行われた救いの解放の真実から、人々を遠ざけているのです。

御霊によって生きる

この学びによって、あなたが学んだ真実や原理を書き出してみましょう。

- ✓ _____
- ✓ _____
- ✓ _____
- ✓ _____
- ✓ _____

学んだことをもとに、あなたがこれからしようと思うことを書いてみましょう。

- ✓ _____
- ✓ _____
- ✓ _____

「もし私たちが御霊によって生きるのなら、御霊に導かれて、進もうではありませんか。」

ガラテヤ 5:25